

わたしたちは展覧会出品作家有志を中心とする市民です。

わたしたちは、パレスチナで現在起きているイスラエル政府のジェノサイドに強く、強く反対します。イスラエル政府が現在行っている虐殺・集団的懲罰などは「国際人道法違反」であり、ただちに止めなくてはなりません。けれども、これまでの5ヶ月間で国際社会は停戦に失敗し、パレスチナの人々は軍事攻撃に限らず、イスラエルによる支援物資の堰き止めによって餓死者も含む約4万人が殺され、手足などを失う障害を負っています。

しかし、私たちがいるこの場所、国立西洋美術館のオフィシャルパートナーである川崎重工業株式会社は、防衛省にイスラエルの武器を輸入・販売しようとしています。

わたしたちは、川崎重工業株式会社に対し、イスラエルの武器の輸入・販売を取りやめることを要求します。国立西洋美術館は、川崎重工業株式会社に対し、イスラエル武器輸入・販売を取りやめることを早急に働きかけてください。

今、日本政府は殺傷武器の輸入、共同開発、第三国輸出まで踏み込もうとしています。殺傷武器輸出を解禁するために、国会での議論を介さず、与党議員わずか12名の実務者による密室の協議をかさね\*1、武器輸出を制限するかつての「武器輸出三原則」、現「防衛装備移転三原則」の前文と運用指針の改定を昨年12月末に閣議決定しました\*2。今年3月6日参議院予算委員会答弁で岸田総理大臣は次期戦闘機の輸出を「国益」\*3と発言しています。

この流れで防衛省は、ガザでのジェノサイドが進行中の今年1月に、購入するイスラエル製の殺傷能力のある武器を決定しています\*4。1月26日には、ICJ(国際司法裁判所)はイスラエルに「ジェノサイド」防止の暫定命令を下しており\*5、これによってイスラエルの軍事企業から殺傷武器を買うことは、この命令に抵触すると考えられるにもかかわらず、防衛省は購入計画を推し進めました。先週になって、防衛省に対する野党議員・市民団体の問い合わせによってイスラエルの武器購入のいわば代理店として、国立西洋美術館のオフィシャル・パートナーの川崎重工業株式会社が名を連ねていることが明らかになりました\*6。防衛省は3月末までイスラエルで実証試験をさせて、4月には本格導入が始まると予想されます\*7。これらの国益とされる防衛産業の名を借りた軍需産業の推進に、川崎重工業株式会社は積極的と見られます\*8。

イスラエルは半世紀以上にわたり植民地支配を推し進め、さらにパレスチナに入植し続け、アパルトヘイト(人種隔離)政策をとっています。パレスチナ市民を不当に逮捕・拘束し、拷問や虐待、殺人を繰り返しています\*9。武器製造・軍事産業においては、武器の性能確認をパレスチナ人を実験台にして行っています。2023年10月7日以降、これまでの157日にわたって、極右政権\*10のイスラエルは自衛権を口実に\*11、パレスチナ・ガザ地区を破壊し、虐殺を繰り返し、死亡者は4万人に登ろうとしています\*12。イスラエルの制圧によりパレスチナ人の寿命は短く、人口の約半数が子供です\*13。そこに攻撃を仕掛けることは、子供たちを狙っていることと同じです。イスラエルでは、パレスチナ人を「動物人間」と呼び\*14、自分たちを脅かす野蛮な人間以下の「獣」として扱い、イスラエル国内で絶滅を望む声さえ少なくはありません\*15。

川崎重工業株式会社の前身である、松方幸次郎社長の川崎造船所は、第一次世界大戦時の世界的な商船不足を補う商売で多大な利益

を得ました。西洋美術館の基礎になっている松方コレクションは、松方氏が英国の愛国啓蒙プロパガンダ・ポスターに感銘を受け、日本のそれは比喩物にならないほど劣っていると思い、日本の画学生の画力の強化を目的に始まったとされます\*16。帝国主義下の戦争特需の利益で行われたコレクションであり、無批判に賞賛することは難しいものです。実際、コレクションの一部は軍国主義をとる天皇制の大日本帝国で、国民への愛国心、軍事思想普及に使えるのではないかという批評が残されています\*17。また、現在大日本帝国下での朝鮮・韓国の従軍慰安婦問題をはじめ、外国人強制労働・徴兵、旅順や南京での日本軍による大量虐殺を否定する歴史修正主義者が勢力を伸ばしていることから、コレクションの語り方には非常に注意が必要といえます。

にもかかわらず、虐殺を続けるイスラエルの武器を、川崎重工業株式会社が購入し、防衛省に販売、自衛隊の装備品にしようとしています。これを見過ごすことは、イスラエルによる虐殺を肯定し、大政翼賛会の推薦議員であったことにより公職追放された\*18 松方氏の行爲と、大日本帝国の行った植民地支配や虐殺行為に正当性を与えます。この正当化の手段のために、私たちは国立西洋美術館という文化芸術における重要な施設が利用されることを拒否します。かつての大日本帝国下の悪しき国家軍需産業と軍部と芸術の結びつきは、二度と蘇らせてはいけません。

川崎重工株式会社と国立西洋美術館は、イスラエルの武器の輸入・輸出によって利益を得ること、それによってパレスチナ人の虐殺や、今後多くの人々が殺されることの正当化に、鑑賞者、労働者、美術作品を含む国立西洋美術館に関わる全ての人、ものを利用しないでください。

わたしたちは、パレスチナ人に連帯し、即時停戦、パレスチナの解放・反帝国主義・脱植民地主義・反差別を支持し、国立西洋美術館のオフィシャルパートナーの川崎重工株式会社に対し、イスラエルの武器の輸入を取りやめることを要求します。

国立西洋美術館は、川崎重工株式会社に対し、イスラエルの武器の輸入・販売を取りやめることを早急に働きかけてください。

イスラエルの武器輸入を取りやめることは、イスラエルに対する制裁となり、現在進行中のパレスチナ人の虐殺をとめる手立てになります。ここにいる皆さんも、どうか一刻も早い停戦のためにもっと力を注ぎましょう。

川崎重工企業・防衛省にイスラエルとの武器取引から撤退を！

アクション参加者

飯山由貴、うらあやか、遠藤麻衣、奥誠之、神川美優、唐沢絵美里、杉野晋平、斎藤玲児、滝あさこ、中島りか、藤川琢史、藤本一郎、松浦 寿夫、百瀬文、山本悠 ほか3名

※アクション時の文章と一部改変を加えています。

\*1 東京新聞『「平和国家から死の商人に転落する」 憲法学者ら22人、殺傷武器輸出解禁や「密室協議」に反対する共同声明』(2023年10月3日) <https://www.tokyo-np.co.jp/article/281415>

\*2 内閣官房ウェブページ『防衛装備移転三原則について(令和5年12月22日 国家安全保障会議・閣議決定)』(2023年12月22日) <https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/bouei.html>

\*3 沖縄タイムス プラス『第三国輸出は「国益」 首相 次期戦闘機共同開発で』(2024年3月6日) <https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/bouei.html>

\*4,7 Choose Life Project YouTubeチャンネル『2/24【緊急生配信】D2021×CLP「日本でパレスチナのためにしたこと・できること イスラエルの兵器と日本の関係」#パレスチナ民族浄化に反対する』  
<https://www.youtube.com/watch?v=WRI2m5t0mg8>

\*5 外務省ウェブページ『南アフリカによるイスラエルに対する国際司法裁判所(ICJ)への提訴(暫定措置命令の発出)(外務大臣談話)』(2024年1月27日) [https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/danwa/pageit\\_000001\\_00242.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/danwa/pageit_000001_00242.html)

\*6 杉原こうじのブログ2『【大拡散希望】イスラエル製攻撃型ドローン候補機の輸入代理店が判明しました！』(2024年3月5日) <https://kojiskojis.hatenablog.com/entry/2024/03/05/233700>

\*8 ロイター『インタビュー: 武器輸出を進めるなら「日本版FMS」創設を＝防衛装備工業会会長』(2023年8月10日) <https://jp.reuters.com/article/idUSKBN2ZL08Z/>

\*9 Iwj YouTube チャンネル『「緊急学習会 ガザとはなにか」―登壇 岡真理 早稲田大学文学学術院教授』①～③(2023年10月24日) <https://www.youtube.com/watch?v=8TtXbli446I>、  
<https://www.youtube.com/watch?v=VVL1r6DJQSw>、  
<https://www.youtube.com/watch?v=BhUQV7JRBxQ>

\*10 日本国際ボランティアセンター JVC YouTubeチャンネル『緊急報告会アーカイブ: イスラエル国内の今 ～世論調査から見る人々の意識と声～』(2023年11月22日) <https://www.youtube.com/watch?v=qUVfplSVTPY>

\*11 読売新聞オンライン『ガザ侵攻、イスラエルが「自衛権」主張...ICJ公聴会で南アフリカの主張に反論』(2024年1月13日) <https://www.yomiuri.co.jp/world/20240113-OYT1T50004/>

\*12 Euro-Med Human Rights Monitor インスタグラム『#Infographic| Statistics on the Israeli Genocide in the Gaza Strip (07 October 2023-05 March 2024)』  
[https://www.instagram.com/p/C4KLvnp0d7/?utm\\_source=ig\\_web\\_copy\\_link&igsh=MzRIODBiNWFIZA==](https://www.instagram.com/p/C4KLvnp0d7/?utm_source=ig_web_copy_link&igsh=MzRIODBiNWFIZA==)

\*13 公益財団法人 日本ユニセフ協会Webページ『「ガザは子どもにとって世界で最も危険な場所」5,300人以上死亡の報告 安保理緊急

会合、ユニセフ事務局長発言要旨』(2023年11月22日) <https://www.unicef.or.jp/news/2023/0203.html>

\*14 Al Jazeera English YouTubeチャンネル『Israeli defence minister orders 'complete siege' on Gaza | AJ #shorts』(2023年10月9日) <https://www.youtube.com/shorts/ReZEJPwrM1k>

\*15 Al Jazeera English YouTubeチャンネル 『Israeli state TV video shows children singing about Gaza | Al Jazeera Newsfeed』  
<https://www.youtube.com/watch?v=sUpm2jGJc18>

\*16 川崎重工業株式会社 Webページ『THE STORIES KWASAKI HEAVY INDUSTRIES -日本人に、本物の芸術を。for Japan ART』  
<https://www.khi.co.jp/stories/articles/vol31/art.html>

\*17 田邊孝次「松方氏蒐集欧州美術展」『美の国』行楽社 1931年6月「最後の部屋に欧州大戦版画があるが、ブラングインの『海洋の自由』、クローゼンの『白國の復興』ローゼンスタインの『陸上の作業』六枚、ビーアスの『海上輸送』六枚、ハートリックの『女性の仕事』六枚、ネヴィンソンの『航空機製造』六枚、ポーンの『造船』六枚、ケンニントンの『陸兵の教練』六枚、ブラングインの『水兵の教練』六枚、何れもよい繪であるし、価格は安いから、陸軍省か航空研究所か、内務省等が買ひ上げて、軍事思想普及、航空術発達、思想善導等の方面に利用したならば、好適の作品だと思ふ。」

\*18 川崎重工業株式会社 Webページ『川崎重工の歴史-社史第1部: 創立からの100年「社会の原動力を支えた、発展の軌跡」30頁  
[https://www.khi.co.jp/corporate/timeline/pdf/125history\\_05.pdf](https://www.khi.co.jp/corporate/timeline/pdf/125history_05.pdf)